

えびすじんじや 蛭子神社

明治6年(1873)の記録には、大己貴尊・事代主尊がまつられている恵比須神社のごとで、394坪の広さであると書かれています。村前新田50町歩(今の天神町・恵美酒町)が開発された寛永年間(1624~44)には、すでに建てていたと考えられます。



行った日



かいこくじぞう 回国地蔵

お地蔵さまを支える石の台に「日本回国」や「享保」といった文字が彫られています。また、お地蔵さまの前にある石燈籠に「享保14年(1729)」と彫られていることから、お地蔵さまも同じころに日本各地のお寺をめぐってお経をおさめた記念としてつくられたと考えられています。



行った日



きたむきじぞう 北向地蔵

明治時代の終わりのころまで昔の武大神社の境内の西の端にありましたが、神仏分離令で境内の東側の空地に移されました。さらに、昭和13年(1938)から始まった県の道路をつくる工事をすると今この場所に移されました。昔から北の方角を向いていることで有名です。



行った日



しんめいじんじや 神明神社

明治6年(1873)の記録には、天照大神とよばれ128坪の広さがあつたと書かれています。村前新田50町歩(今の天神町・恵美酒町)が開発された寛永年間(1624~44)には、すでに建てていたと考えられます。神明とは天照大神の呼び名です。



行った日



ぜんおおつこうみんかんあとち 前大津公民館跡地 (旧揖保郡大津村役場)

昭和37年(1962)、大津支所がなくなり市立大津公民館となりました。今の公民館が建つまでは謡曲・華道・婦人会などの活動の中心地でした。初代の館長は立川栄之助という人です。跡地の一部には網干消防団大津分団があります。



行った日



35 大津地区

この地区には、歴史のある神社やお地蔵さまがたくさんありますね。神社やお地蔵さまがつくられた時代や理由について調べてみましょう。



調べたこと、わかったことを書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り、伝統行事
- 美術品
- etc その他
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み



0m 250m 500m

だいひさんぶっしんじ 大悲山仏心寺

明応9年(1500)に、細川勝元の子孫、細川安右衛門が仏の道に入り、「了膳」という名前になって開いたお寺だといわれています。宝暦元年(1751)に火事で焼けてなくなりましたが、宝暦8年(1758)に本堂が建て直されたと棟札に書かれているのが残っています。本堂は平成10年(1998)に建て直されました。



行った日



とうかくさんしやうあんじ 等覚山聖安寺

お寺の記録には、文明9年(1477)に禅宗等覚寺として順正というお坊さんが開いたと残っています。明応2年(1493)に真宗に改め、正徳3年(1713)には聖安寺と名前を変えました。丸亀藩の殿さま京極高豊、高或、高矩の3代の位牌がおかれています。



行った日



ねほんさんぶっしやうじ 涅槃山仏性寺

永正5年(1508)、雨が少なくて困っていた村を救うために、ある村人が原池のせきを切ってしまい、罰をうけることになりましたが、その話を聞いた仏光寺の住職がこの村人を許しました。その後、この村人は仏の道に入り、小さなお堂を建てました。そのお堂が慶安2年(1649)に仏性寺になりました。



行った日



ぶだいじんじや 武大神社(長松)

元禄時代に荒神社を今の場所に移し、明治14年(1881)に本殿と拝殿を新しく建てました。昭和天皇の即位記念に本殿と拝殿をさらに広げ、廣峯神社からご祭神として素戔嗚命をむかえ、名前を武大神社に変えました。



行った日



ろくじぞう 六地蔵

汐入川公園の東側に、いくつかのお墓と並んで「享保14年(1729)」と彫られた六つのお地蔵さまが立っています。市内にあるお地蔵さまの中でも古い方で、保存樹「エノキ」のそばに静かに並んでいます。



行った日

